



年 組 名前

## 道新でワークシート

## 「雪うなぎ」養殖 増築進む

## 美唄 出荷量10倍 来春完成へ

【美唄】雪解け水とコンピュターサーバーの排熱を使って「雪うなぎ」を養殖する「北海道びばい雪うなぎ」（美唄）は、養殖施設の増築を市内の空知工業団地で進めている。出荷量を現在の年間

6トから10倍の60トに増やす計画だ。道内でウナギを扱う業者は本州から活魚を仕入れてきたが、美唄産の「雪うなぎ」の出荷量が増えれば、航空機の欠航などで仕入れができない「輸送リスク」を減らせると、期待する声も上がる。

「雪うなぎ」は施設近隣のデータセンターにあるコンピュターサーバーの排熱で雪解け水の温度を調節し、ニホンウナギを養殖しているのが特徴。2023年1月から養殖を始め、24年7月から出荷している。道内でウナギの養殖を行っているのは美唄のみだ。

養殖施設の増築は25年6月30日に着工。現在は10トの水槽6基でウナギを養殖しているが、施設西側の区画を新たに購入し、長さ1000坪のハウスを3棟増築する計画だ。26年春に完成予定で、出荷は稚魚が成長する27年7月以降を見込む。

道内でウナギを扱う業者は、養殖が盛んな静岡県や鹿児島県などから活魚を仕入れるのが一般的。しかし、輸送には飛行機の欠航や大雪で運送できないなどのリスクがあり、入荷できないこともしばしばあるという。「雪うなぎ」を取り扱っている「かど屋」（札幌市）の八巻直宏店長は「これまでにはリスクを負ってでも本州から入荷するのが当たり前の世界だったが、美唄で手に入るのであれば鮮度も良く、輸送リスクを減らせるので安心して取引できる」と話している。

（久川凌生）

2025年8月27日（水） 朝刊 空知版 15ページ （記事は再編集しています）

- (1) なぜ「雪うなぎ」という名前なのか。

記事を読み、次の空欄にあてはまるように記事の中の言葉を使って答えなさい。

|  |  |  |  |
|--|--|--|--|
|  |  |  |  |
|--|--|--|--|

を使って養殖されているから

- (2) 記事にある「輸送リスク」とは具体的に何ですか。2つ書き抜きなさい。

- (3) 記事を読み、施設の課題点について、次のようにまとめました。その文の空欄を補う形で、文を完成させなさい。さらに、その課題点に対する解決策を考えて書きなさい。

課題点：【 A 】を利用しているため、【 B 】が起きると、  
【 C 】ができなくなってしまうこと。

解決策：